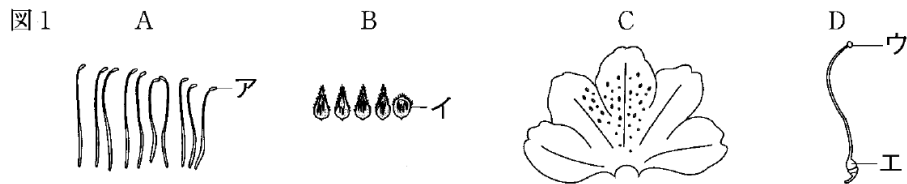


1

次の問いに答えなさい。

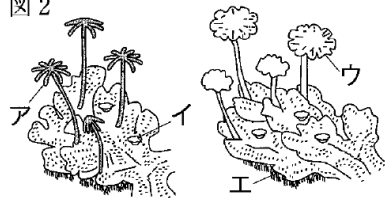
- (1) 図1は、ツツジの花を分解して、A～Dの4つの部分に分けて観察し、スケッチしたものである。これについて、あとの各問いに答えなさい。



- ① 図1のA～Dを、花の内側から外側にあるものの順に左から並べ、その順序を記号で答えなさい。
- ② 図1のア～エのうち、受粉すると成長して果実になる部分はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。
- ③ 図1のCの部分のつき方によって花の種類を2つに分けることができる。次のうち、ツツジと同じ種類の花をつける植物はどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア サクラ イ ナズナ ウ タンポポ エ エンドウ

- (2) 図2は、ゼニゴケをルーペで観察したものである。これについて次の各問いに答えなさい。



- ① ゼニゴケは、子孫をふやすための胞子を胞子のうでつくる。図2のア～エの部分のうち、胞子のうはどこにあるか。1つ選び、記号で答えなさい。
- ② 次のうち、ゼニゴケの特徴を述べたものとして最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア からだに根、茎、葉の区別がある。また、胞子は雌株でつくられる。
- イ からだに根、茎、葉の区別がない。また、胞子は雌株でつくられる。
- ウ からだに根、茎、葉の区別がある。また、胞子は雌花でつくられる。
- エ からだに根、茎、葉の区別がない。また、胞子は雌花でつくられる。

- (1)① 内側から、めしべ(D)、おしべ(A)、花弁(C)、がく(B)の順についている。

- ② おしべのやく(A)に入っている花粉がめしべの柱頭(ウ)につくと、子房(エ)が成長して果実になり、子房の中にある胚珠が種子になる。

- ③ ツツジやタンポポの花のように、花弁がくっついていて花を合弁花、サクラやナズナ、エンドウの花のように、花弁が1枚ずつ分かれている花を離弁花という。

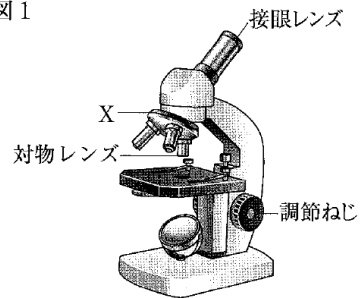
(1)	①	D → A → C → B			
	②	エ	2		
	③	ウ	3		
(2)	①	ア	4		
	②	イ	5		

1

次の問いに答えなさい。

- (1) 図1のような顕微鏡を用いて観察を行います。接眼レンズはかえずに、図のXの部分回して対物レンズを10倍のものから40倍のものにかえます。これについて次の各問いに答えなさい。

図1



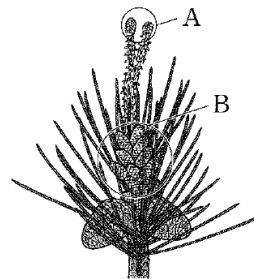
- ① 図のXの部分は何といいますか。名称を答えなさい。
 ② 対物レンズを40倍のものにかえると、10倍のものときと比べて、プレパラートと対物レンズとの距離と見える範囲はどうなりますか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア プレパラートと対物レンズとの距離は近くなり、見える範囲はせまくなる。
 イ プレパラートと対物レンズとの距離は近くなり、見える範囲は広がる。
 ウ プレパラートと対物レンズとの距離は遠くなり、見える範囲はせまくなる。
 エ プレパラートと対物レンズとの距離は遠くなり、見える範囲は広がる。

- (2) 図2のようなマツの枝から、マツの花の一部を採取してルーペで観察しました。図3は、雌花のりん片を示したものです。これについて次の各問いに答えなさい。

図2

図3



- ① 図3のりん片は、図2のどの部分から採取できますか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
 ア Aの部分から採取できる。
 イ Bの部分から採取できる。
 ウ Aの部分とBの部分のどちらからでも採取できる。

- ② 図3のYの部分に花粉がつくと、Yはやがて何になりますか。名称を答えなさい。

- (3) 次のうち、ゼニゴケについて説明したものとして適当なものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア からだに根、茎、葉の区別がある。
 イ 水などをからだの表面から吸収する。
 ウ 雄株に胞子のうができ、胞子でふえる。
 エ 仮根を使ってからだを地面に固定している。

- (1)① レボルバー(X)を回転させて対物レンズを切りかえ、倍率を変えます。

- ② 対物レンズは倍率が高いものほどレンズが長いので、倍率を高くすると、プレパラートとの距離は近くなります。また、視野はせまくなり、明るさは暗くなります。

- (2)① 図2のAが雌花、Bが雄花です。図3は雌花のりん片なので、Aから採取できます。

- (3) コケ植物のからだには根、茎、葉の区別がなく、水などをからだの表面からとり入れています。根のように見える仮根は、からだを地面に固定するはたらきをしています。

(1)	①	レボルバー	
	②	ア	2
(2)	①	ア	3
	②	しゅし 種子	
(3)		イ、エ 順不同完答	